

日野おはなしの会

日本を始めいろいろな国の昔話、また語りに向く絵本や文学作品を「覚えて、”素語り（ストーリーテリング）“をする」という活動をしています。

日野おはなしの会には、「種をまく人とこすずめの会」「ことの葉」「よつ葉の会」、3つの勉強会があります。それぞれの月例会で覚えた作品を語り合い、批評し合い、絵本や書籍の情報を交換して、自分達のお話のブラッシュアップをしています。そしてお話会やイベントの際は、グループの枠を超えて一緒に活動しています。

主な活動の場（お話会を開催する場所）は保育園、学校、児童館などで、定期的に訪問しています。お話会ではストーリーテリングのお話と絵本の読み聞かせを行い、最後にお話の出典本や関連本を実際に見せながら紹介します。

その際に利用する本の入手のため、図書館にはいつもお世話になっています。

小学校では1時間ずつ全クラスでお話会を行うので、必要な書籍はかなりの量になります。当会が小学校経由でお願いした書籍をお話会当日までに小学校に配本していたり、不足本がないかを事前に図書館で確認させていただいたりして準備しています。その甲斐あって、クラスでのお話会の後には、子ども達が「見せて、見せて」と本に寄ってきます。ストーリーテリングで物語を楽しんだ後、すぐに実際の書籍を手にとれることで、子ども達の世界がぐんと広がるのだと思っています。

月に1回、多摩平図書館のお話の部屋をお借りして「わくわくおはなし会」も開催しています。40分程度のお話会ですが、友達同士、親子、もちろんお一人で来られる方もいらっしゃって、3歳くらいからご高齢の方まで幅広い年齢層の皆さんと一緒に楽しんでいます。時には保育園や小学校で当会のお話会を聴いた子どもたちが来てくれることもあり、そんな時は、子ども達と本を繋げるお手伝いできたかなと嬉しく思います。また小さなお子さんを連れた親子が、その日聞いた絵本を借りて帰られる姿には、お家での微笑ましい読み聞かせの様子がうかがわれ、幸せな気持ちになります。

どんな時でも、子どもたちには「物語」が、「本」が、必要です。

私たちは「子どもたちにもっと物語を」と願って、お話を届けています。

